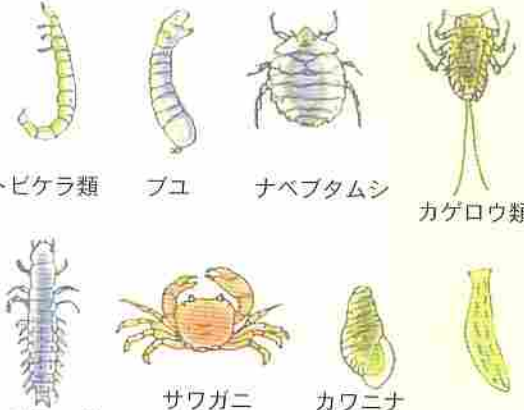
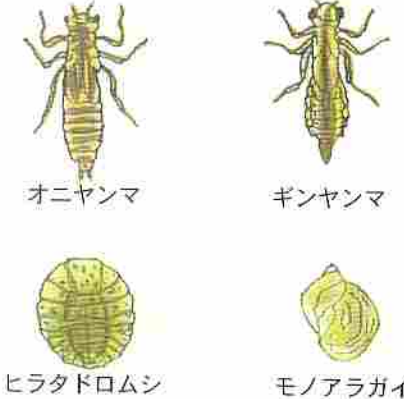
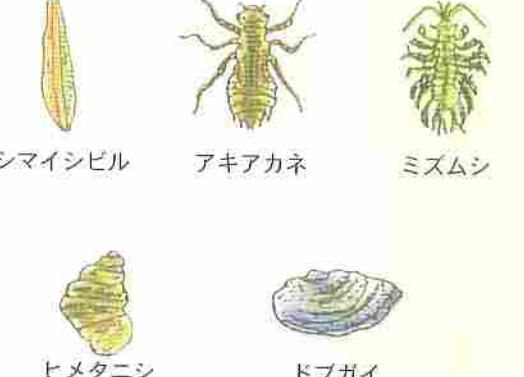
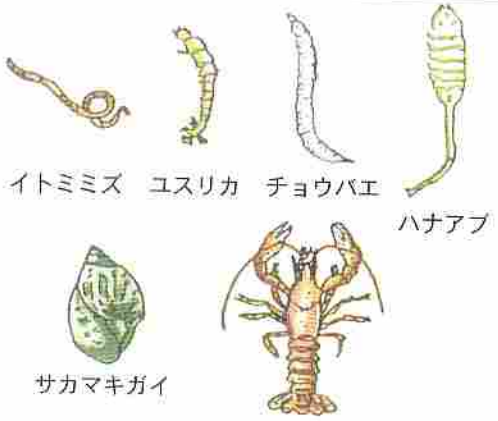


3 川の汚染を考える

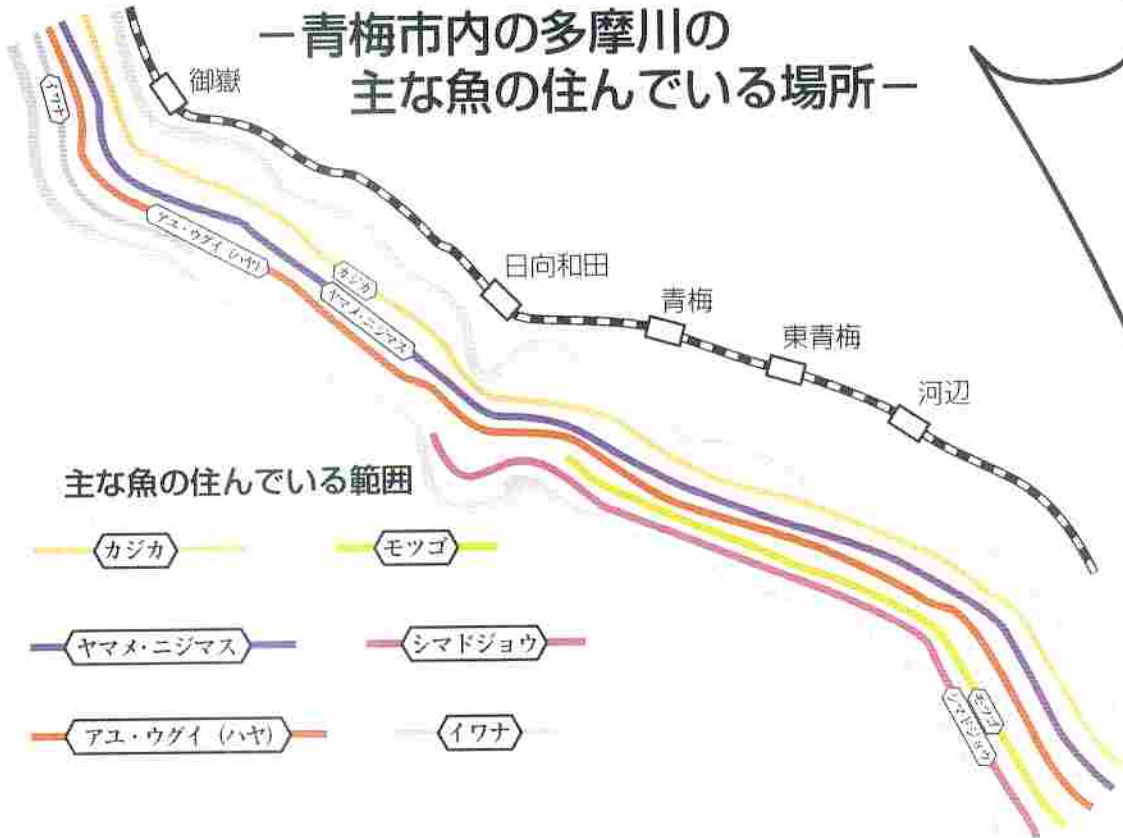
30ページの写真を見て、皆さんは川にごみを捨てることについて、どう思いますか……。

これからどのようにしたら、川の汚染について興味をもって調べていけるかを考えていきましょう。誰にでもできる方法としては、川の水生動物を手がかりとして、川の環境を知る方法です。水生動物の種類によって、どのくらい川が汚染されているかがわかります。図表4がその内容です。皆さんの住んでいる川にどんな水生動物がいるか、調べてみるといいですね。調べることによって、きっと自然に対する愛情がわいてきます。

きれいな水域	やや汚染されている水域
 <p>トビケラ類 ブユ ナベブタムシ カゲロウ類</p> <p>ヘビトンボ サワガニ カワニナ</p> <p>カジカガエル ゲンジボタル</p> <p>特徴 ・水生動物の種類がたくさんいる。</p>	 <p>オニヤンマ ギンヤンマ</p> <p>ヒラタドROMシ モノアラガイ</p> <p>特徴 ・水生動物の種類は少なくなる。 ・個体数は多くなる。</p>
かなり汚染されている水域	きわめて汚染されている水域
 <p>シマイシビル アキアカネ ミズムシ</p> <p>ヒメタニシ ドブガイ</p> <p>特徴 ・さらに水生動物の種類が少なくなる。 ・個体数をもっと少なくなる。</p>	 <p>イトミミズ ユスリカ チョウバエ ハナアブ</p> <p>サカマキガイ アメリカザリガニ</p> <p>特徴 ・種類は特殊なものになる。</p>

図表4

—青梅市内の多摩川の
主な魚の住んでいる場所—



イワナ 岩魚



サケ目サケ科

カジカ 鰻



カサゴ目カジカ科

ヤマメ 山女魚



サケ目サケ科 (陸封型)

ニジマス 虹鱒



サケ目サケ科 (北米産)

図表5 青梅市教育委員会「さかなマップ」より

きれいな水域にいる魚
ヤマメ、イwana、ウグイ、カジカ、アユ、ニジマス、シマドジョウ等
やや汚染されている水域にする魚
アユ、モツゴ、ウグイ（ハヤ）、コイ等
かなり汚染されている水域またはきわめて汚染されている水域にいる魚
コイ、フナ、ナマズ等

図表6

さあ、皆さんの住んでいる川に行って、魚釣りや川の中をのぞいてどんな魚がいるか見てみましょう。川の環境を知る手がかりが、きっと得られると思います。そうすれば、もっと川を身近なものに感じることでしょう。

そして、川の汚染を防ぐために私たちはどのようにしていかなければいけないのか、よく考えていきましょう。

次に、図表5を見ていきましょう。多摩川の主な魚の住んでいる場所の範囲を示しています。

図表6、7を参考にすれば、青梅市内を流れている多摩川は、きれいな水に住んでいる魚が多いことがわかります。しかしやや汚染されている水域にいる魚のモツゴが、青梅から河辺付近に見られます。

アユ 鮎



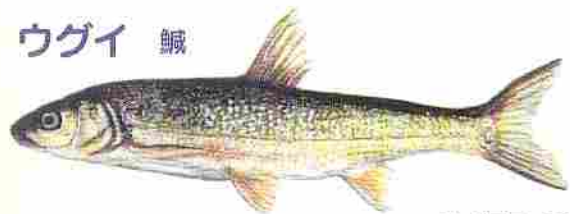
サケ目キュウリウオ科

モツゴ



コイ目コイ科

ウグイ 鱈



コイ目コイ科

シマドジョウ 縞鰍



コイ目ドジョウ科

図表7 青梅市教育委員会「さかなマップ」より